



## ヘチマの花が咲くのに、**順番**はあるの

### 下の方から、**順**に咲く

ヘチマは、葉のつけ根から巻きひげを出して、ほかの物にからまりながら、上へ上へとは  
いあがっていきます。花は、葉のつけ根から、花のえがのびて、その先につきます。ヘチマ  
の成長とともに、花もどんどん作られます。

根に近い下の方にあるものほど、早く作られた花の芽です。花が咲く**順番**も、下の方か  
らになります。

### ヘチマの花は、**二種類**ある

ヘチマは、夏の初めから秋おそくまで、黄色の花をたくさん咲かせます。毎日、毎日、何十  
個と花が咲き、その日のうちにしおれてしまいます。咲いた花を、よく見てみましょう。ヘ  
チマの花は、**二種類**あることがわかります。

葉のつけ根からのびた花のえに、花が数個かたまってつくのが、「お花」です。お花は、  
め花より先に咲き始めます。花のみつに飛んできた虫が、たくさん咲いている、お花の花粉  
を、め花に運びやすくなるからです。花のえの先に、一つだけつくのが、「め花」です。め  
花は、花の根もとに、ふくらんだ部分があります。この、根もとのふくらんだ部分が、ヘチ  
マの実になります。

ヘチマのように、同じ株に、お花とめ花がなるものを「雌雄同株」といいます。

(監修・矢野 亮)

